

外来医療体制の整備①

【主旨】

今冬は、今夏を上回る新型コロナウイルス感染症の感染拡大が生じる可能性があることに加え、季節性インフルエンザも流行し、より多くの発熱患者が生じる可能性が指摘されている。このため政府からは、各都道府県に対して、新たに診療・検査医療機関等に関する「外来医療体制整備計画」を策定し、外来医療体制を整備することを求められている（令和4年10月7日事務連絡）。

【国の基本的考え方と今冬の感染拡大の想定等】

新型コロナと季節性インフルと同時流行したことを想定し、全国で75万人の発熱患者を想定して準備を進める。

○新型コロナ 45万人（今夏を上回る感染拡大）

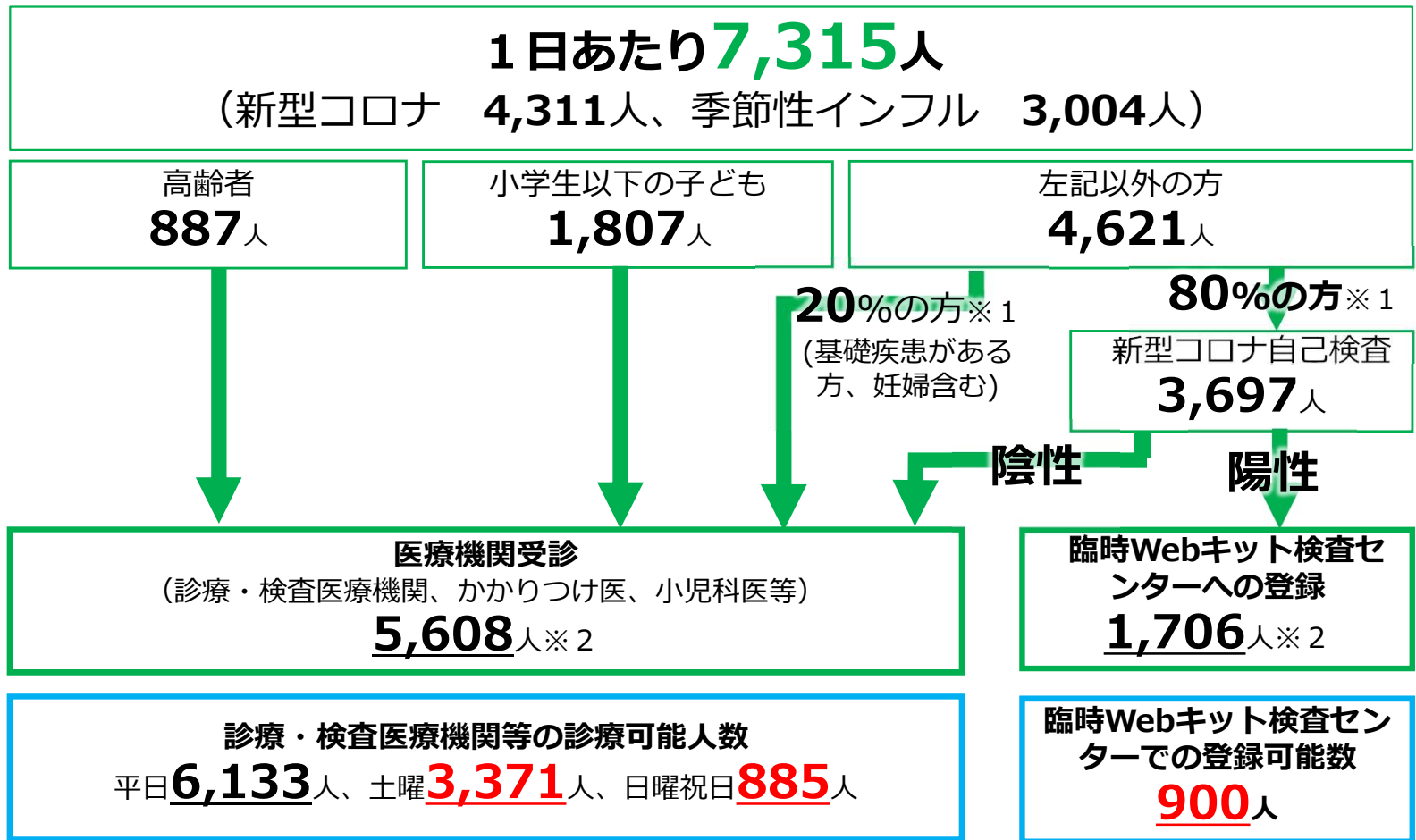
○季節性インフル 30万人（大流行期を想定）

→政府の推計方法に基づき算定した結果、

青森県のピーク時における患者数の想定は1日あたり**7,315人**

外来医療体制の整備②

ピーク時における
患者数の想定
(1日当たり)



受診・登録が見込まれる人数

外来医療体制の
診療能力 (現在)

ピーク時の想定として

- ・土曜日及び日曜日・祝日の診療・検査医療機関が不足する可能性がある。
- ・臨時Webキット検査センターの能力が不足する可能性がある。



※1 青森県保健医療調整本部で推計。
※2 端数処理により合計が異なります。

外来医療体制の整備③

【主な対応方針】

○患者数の減少

- ・ 換気の徹底
- ・ 基本的感染防止対策の徹底
- ・ ワクチン接種の推進
- ・ 二酸化炭素濃度測定器の高齢者施設・障害者施設への配布
- ・ 今冬における高齢者施設・障害者施設の職員への集中的検査（案）

○感染拡大時の受診の流れを周知

- ・ 重症化リスクが低い方は、臨時Webキット検査センターなどによる自己検査の活用
の周知
- ・ 土日祝日に発熱した際は、なるべく自宅で安静にして平日に受診することの周知
※体調に応じて速やかに医療機関を受診してください。

○外来医療能力の拡充の働きかけ

- ・ 診療・検査医療機関の拡充の働きかけ（指定数増加、対応拡充）
- ・ 診療・検査医療機関以外の医療機関における新型コロナ陰性の発熱患者対応の拡充
の働きかけ
- ・ 小児科標榜医療機関における発熱患者対応の拡充の働きかけ

○臨時Webキット検査センターの対応能力拡充

- ・ 感染状況に応じた臨時Webキット検査センターの体制拡充(案)（配置医師の増
員等）